

平成29年度一般会計決算の概要及び重点施策について

【決算の概要】

○歳入

1 自主財源について

市民税については、つくばエクスプレス沿線開発に伴う、納税義務者の増加などから、個人市民税は、前年度に比べて 2.9% 約3億5,600万円の増額、法人市民税は、企業業績の回復などにより前年度に比べ1.5% 約1,500万円の増額となりました。

また、固定資産税についても、区画整理に伴う土地の使用収益の開始、新築家屋の増加等により、前年度に比べて 4.1% 約3億8,800万円 増額いたしました。

その結果、市税全体では、対前年度比 3.0% 約7億8,200万円 増額いたしました。

分担金及び負担金では「保育所運営費負担金」などの増により、前年度比 21.5% 約2億4,900万円の増額となりました。

また、繰入金では減債基金繰入金等に繰り入れなかったため、前年度比 マイナス97.1% 約4億7,900万円の減額となりました。

これらの結果、自主財源は前年度に比べて約7億3,900万円 率にして 2.3%増の、324億4,583万7千円となり、構成比としましては前年度より 2.0ポイント増の、58.9%となりました。

2 依存財源について

県支出金は、子どものための教育・保育給付費負担金の増額などにより、前年度に比べて 9.1% 約2億6,900万円 増額しました。

地方交付税は、普通交付税交付金で約4,500万円、特別交付税交付金で約600万円減額したことから、全体では前年度に比べて3.1% 約5,100万円の減額となりました。

市債は、「新市街地地区小学校建設事業」、「新市街地地区中学校建設事業」が減額したこと等により、前年度と比べて 20.6% 11億9,600万円の減額となりました。

以上のことから、依存財源は、前年度と比べて、約13億4,000万円 率にして 5.6%減の226億4,201万2千円となり、構成比としましては、前年度よりも2.0ポイント減の41.1%となりました。

これらの結果、歳入総額といたしましては、550億8,784万9千円で、前年度と比べまして、1.1%の減となりました。

○歳出

歳出総額は 526億2,415万4千円となり、前年度と比べまして、2.7%の減となりました。

内訳を申し上げますと、義務的経費は、扶助費等の増加により、対前年度比 約16億9,500万円 率にして6.4%増の、約283億400万円となり、構成比では前年度より4.6ポイント増の 53.8%となりました。

一方、投資的経費については、新市街地地区小学校建設事業、新市街地地区中学校建設事業の施設購入費が減額したことなどから、対前年度比 約33億9,600万円、率にして34.8%減の約63億6,100万円となり、構成比では、前年度より 5.9ポイント減の12.1%となりました。

○実質収支

歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに繰越明許費など翌年度への繰り越すべき財源として、3億2,156万1千円を差し引いた21億4,213万4千円となり、前年に比べ6億9,507万2千円、率にして48%の増となりました。

【重点施策】

(1) 都市基盤の整備

つくばエクスプレス沿線整備地域の土地区画整理事業については、平成30年3月末時点での市内5地区の平均の進捗率は、約85%となっております。

「流山おおたかの森駅前市有地活用事業」については、平成29年3月の着工以降、公共施設棟及びホテル商業棟、集合住宅棟の工事が進め

られています。

（２）生活環境の整備

交通安全施設整備については、流山本町地区において、交通量や速度の抑制を図るために「ゾーン30」を実施したほか、市内各所において道路反射鏡や路面標示を設置し、事故防止に努めました。

防犯灯については、民間の省エネルギー化事業・ESCOによる新規設置及び維持管理を行っていますが、平成29年度は自治会からの要望に基づき312灯の新規設置を行うとともに、電気料金の負担、不点灯等の故障対応を行いました。

（３）教育・文化の充実向上

学校の施設整備については、子どもたちの安心・安全な教育環境の整備を推進するため、おおたかの森小学校及び南流山小学校の校舎増築工事などを、実施しました。

スポーツフィールド整備事業では、屋外体育施設で市内最大規模となる流山スポーツフィールドの整備が完了し、スポーツ環境の充実を図りました。

（４）市民福祉の充実

つばさ学園については、緊急時の避難路の確保及び利用者の利便性の向上のため、駐車場を整備しました。

待機児童の解消策として、おおたかの森地区に7か所の新設保育園の整備を行ったほか、小規模保育事業所として、おおたかの森地区に8事業所、南流山地区に2事業所をそれぞれ整備しました。

保育士確保対策では、保育士宿舎借上げ支援事業に加え、特例保育士処遇改善事業や保育士就労奨励金事業等を実施しました。

（５）産業の振興

産業の振興については、市内で創業や起業をしようとする方の支援を図るため、流山商工会議所と連携し、創業スクールを開催したほか、ふるさと納税をしていただいた皆様の善意に対する感謝の気持ちと、本市

のPRを目的に市内の特産品を贈呈しました。

観光については、流鉄株式会社との共催による「流鉄B E E R 電車」の開催や新撰組をテーマとした女性向けスタンプラリーを実施し、地域の魅力向上を図るとともに地域活性化及び経済効果に繋げました。

農業については、昨年度に引き続き、若手農業者・女性農業者のPRや消費者との意見交換や交流の場として「ここだけマルシェ」を10月に開催し、新たな消費者の発掘に努めました。

(6) 行政の充実

ファシリティマネジメント推進事業では、市内小中学校22校における照明器具の省エネルギー化事業・ESCOについて優先交渉権者を選定したことから、平成31年度からのサービス開始を目指していきます。